

2015年2月20日

国立市議会議員 青木 健 様

「沖縄辺野古沖での海底調査に向けた作業の中止」および
「沖縄での新基地建設の中止」を求める、国立市議会の意見書を
内閣総理大臣と防衛大臣に提出することを求める陳情

陳情の趣旨

防衛省沖縄防衛局は、今年1月に辺野古での海底調査再開に向けた作業を再開しました。防衛局は、ブイ（浮標）やフロート（浮具）を台風で流されないようにするためとして、最大45トンもの巨大なブロックや鋼製アンカーを海中投下し、サンゴを損傷し海の破壊を繰り返しています。また県警や海保は、この作業に抗議する県民を力で押さえつけています。翁長沖縄県知事は、仲井真前知事による埋め立て承認の法的瑕疵の有無を検証する有識者による「第三者委員会」を設置し、6～7月に結論を出すとしています。安倍内閣は県民の思いに配慮し、せめて第三者委員会が検証を終えるまでは作業を中止すべきです。

戦後70年間米軍基地に苦しめられた沖縄で、新たに200年先まで使えるような新基地を押しつけるべきではありません。新基地は、2本の滑走路と300m近い岸壁が建設され、4万トンを超える強襲揚陸艦が接岸できる巨大新基地です。普天間基地の単なる移設ではありません。沖縄県知事選挙や総選挙で示された「新基地ノー」の民意を真摯に受け止めるべきです。

陳情事項

1. 防衛省沖縄防衛局が行っている、沖縄辺野古沖での海底調査に向けた作業を、翁長沖縄県知事が設置した「第三者委員会」の結論が出るまで中止することを求める、旨の意見書を内閣総理大臣および防衛大臣に提出すること。
2. 先の沖縄知事選や総選挙で示された「新基地ノー」の民意を真摯に受け止め、安倍内閣は沖縄辺野古での新基地建設を直ちに中止することを求める、旨の意見書を内閣総理大臣および防衛大臣に提出すること。